

第9期行田市
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
アンケート調査結果 概要報告

令和5年7月14日（金）

1 アンケート調査の概要

●介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

対象者	要介護認定を受けていない市内在住の65歳以上の方
対象者数・回収数（回収率）	1,500人・870票（58.0%）
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
実施時期	令和4年12月6日～令和5年1月10日

●在宅介護実態調査

対象者	要介護（要支援）認定を受けている市内在住の方
対象者数・回収数（回収率）	1,500人・725票（48.3%）
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
実施時期	令和4年12月6日～令和5年1月10日

●介護サービス提供施設・事業所調査

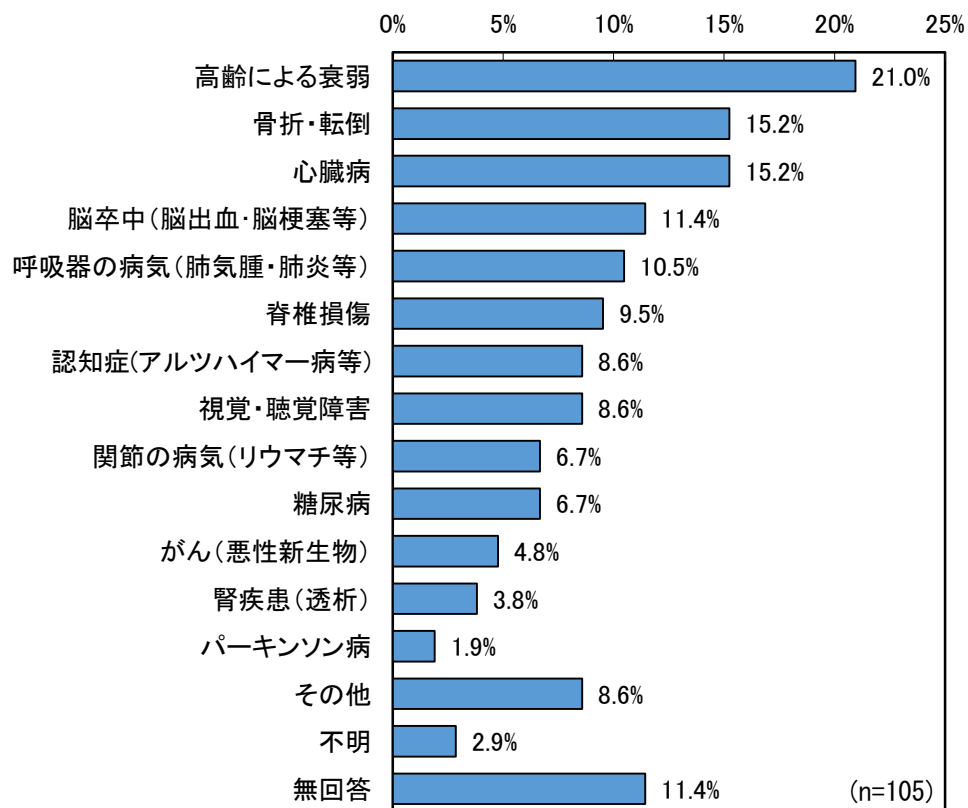
対象者	市内の介護サービス提供施設・事業所すべて
対象者数・回収数（回収率）	116施設事業所・100票（86.2%）
抽出方法	全数調査
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
実施時期	令和5年2月13日～令和5年2月28日

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の概要

●介護・介助が必要となった原因

○介護・介助が必要となった原因として、高齢による衰弱が多く挙げられている。

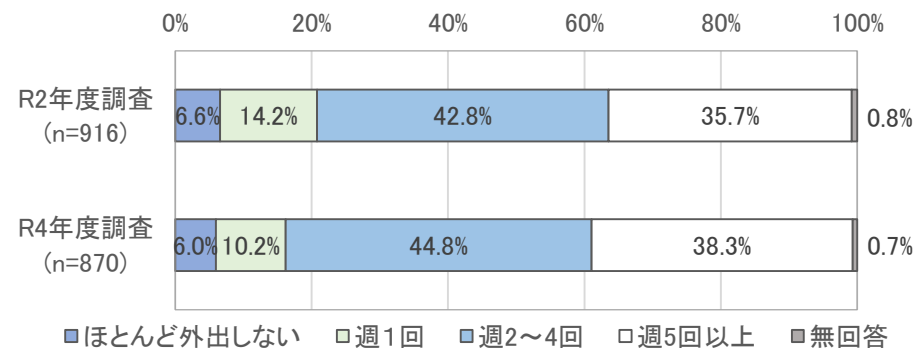
Q：介護・介助が必要になった主な原因について



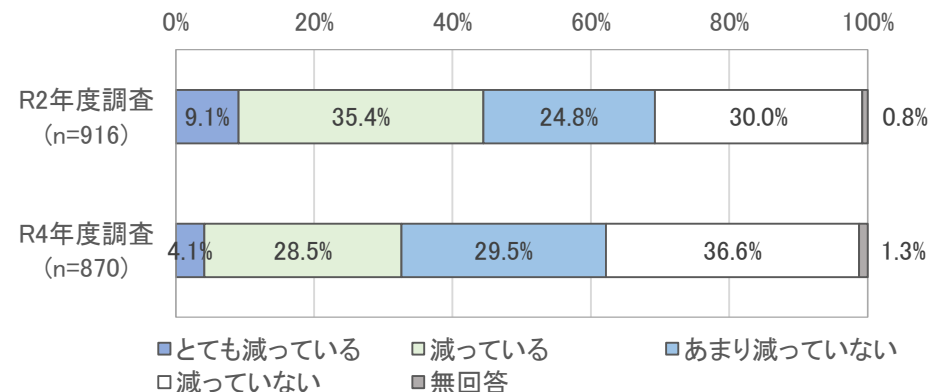
●からだを動かすこと

○前回調査と比べ、外出することが増えている。

Q：週1回以上の外出



Q：外出回数の前年比較



2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の概要

●食べることについて

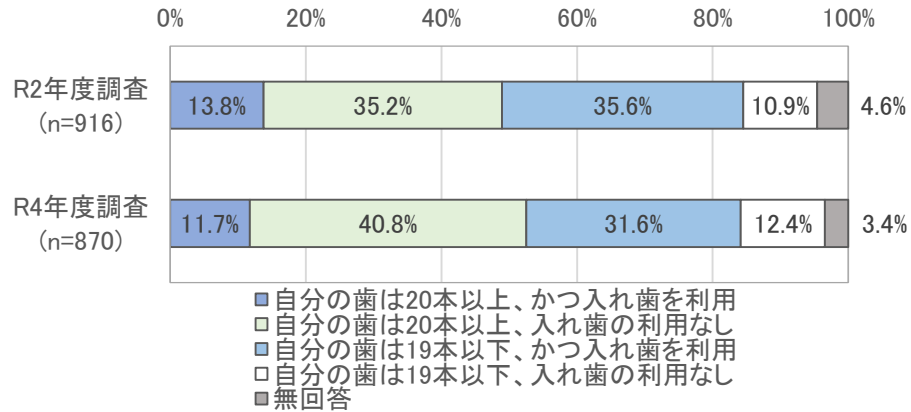
○自分の歯が20本以上、かつ入れ歯の利用なしの方が、前回調査より5.6ポイント増加。

○急激に体重が減少した方は、前回調査より2.0ポイント減少。

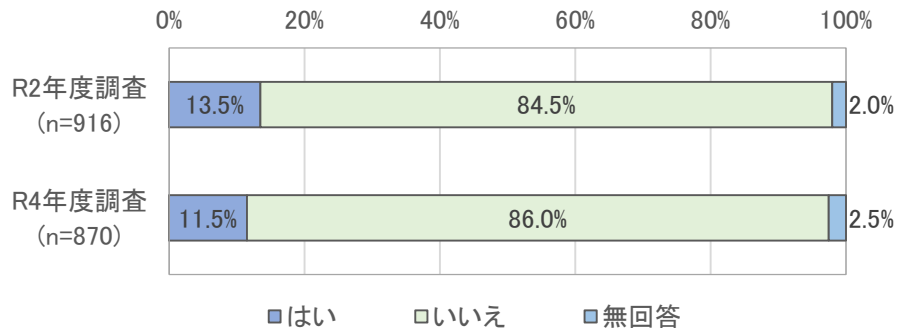
●毎日の生活について

○物忘れが多いと感じている方は前回調査とほぼ変わらない約4割に対し、日付が分からない時がある方が、前回調査より1.7ポイント増加。

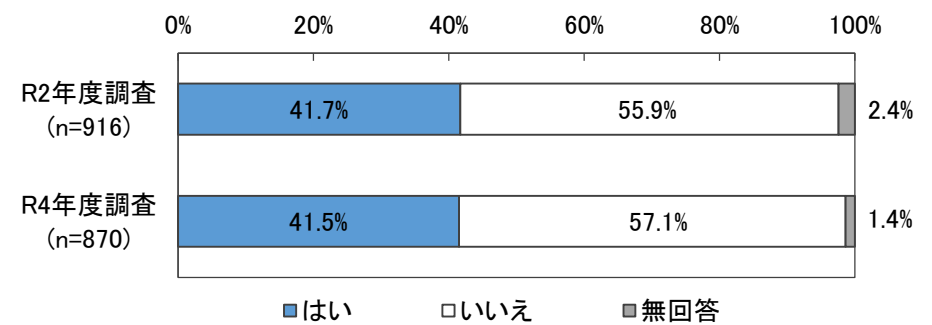
Q：歯の数と入れ歯の利用状況



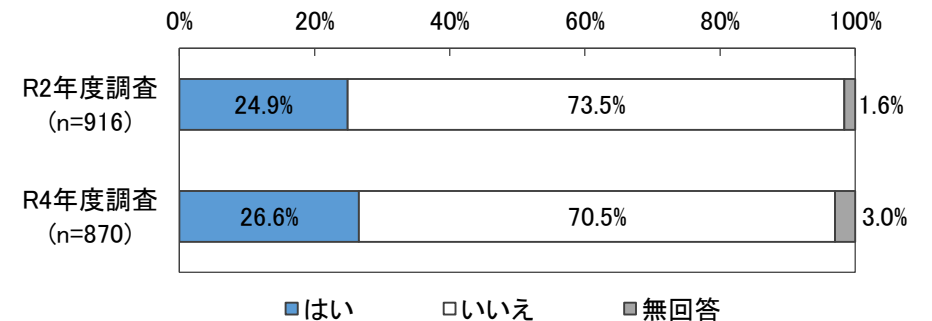
Q：急激な体重減少があるか



Q：物忘れが多いと感じるか



Q：日付が分からないときがあるか



2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の概要

●地域とのつながりなど

- 新型コロナの影響などから各地域活動への参加割合が減少している。
- 第9期計画では、コロナ収束後における地域活動のあり方を検討しつつ、ニーズに応じた地域活動を展開することで、より多くの高齢者の参加を促進し、高齢者の健康意識や生きがいつくりにつなげていくことが重要。
- また、独居者が増加していることから、地域での見守り体制を強化するとともに、ご近所型介護予防事業などを活用することで、独居者の地域での交流機会や外出機会の増加につなげていくことが重要。

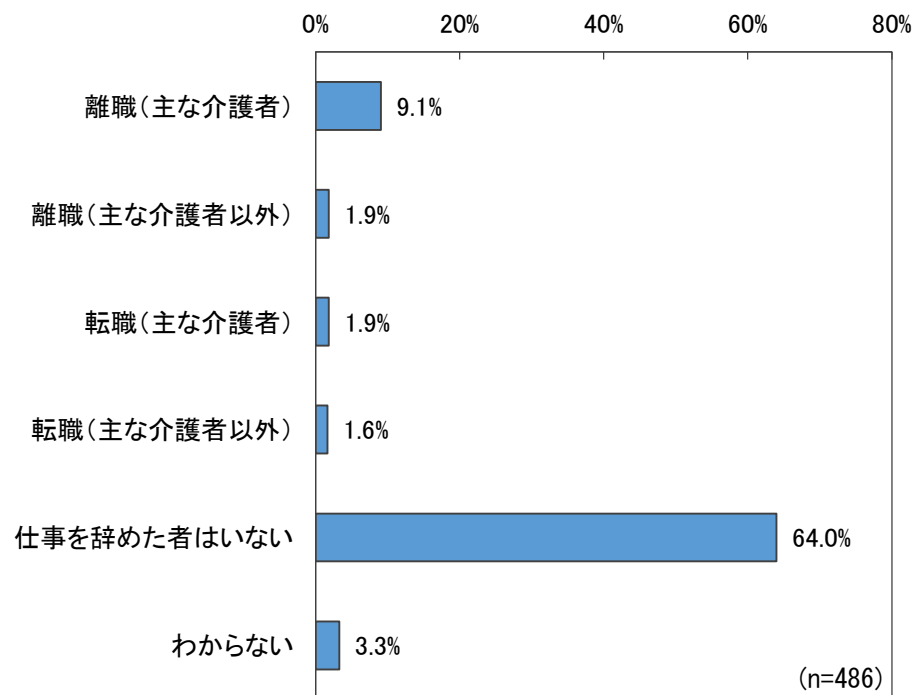
項目	R2年度調査	R4年度調査	増減
スポーツの会参加者(月1回以上)の割合	18.6%	18.0%	↓
趣味の会参加者(月1回以上)の割合	22.3%	18.7%	↓
町内会・自治会参加者(月1回以上)の割合	8.6%	8.2%	↓
地域活動へ参加意向がある者の割合	60.4%	51.5%	↓
地域活動(企画・運営)への参加意向がある者の割合	38.1%	33.2%	↓
独居者の割合	13.2%	13.4%	↑
主観的健康感が良い者の割合	79.6%	80.2%	↑
生きがいがある者の割合	58.8%	61.6%	↑

3 在宅介護実態調査結果の概要

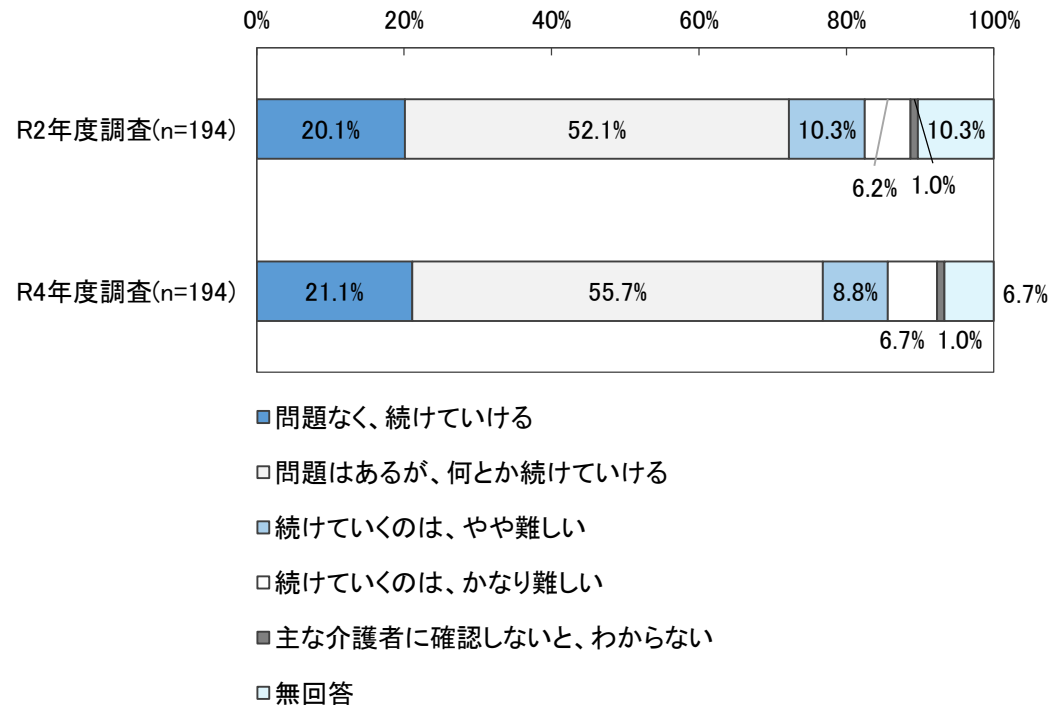
●介護者の仕事と介護の両立の状況について

- 主な介護者の約10人に1人が、介護を理由に離職または転職を行っている。
- 前回調査時と比べて、「問題はあるが、何とか続けていける」が3.6ポイント増えたものの、「続けていくのは、かなり難しい」と「かなり難しい」と回答した方が合わせて15.5%いる。
- こうした状況から、第9期計画では、介護者への更なる支援の充実が必要。

Q：介護を主な理由とした過去1年間の離職等の状況



Q：主な介護者の今後の就労の継続について



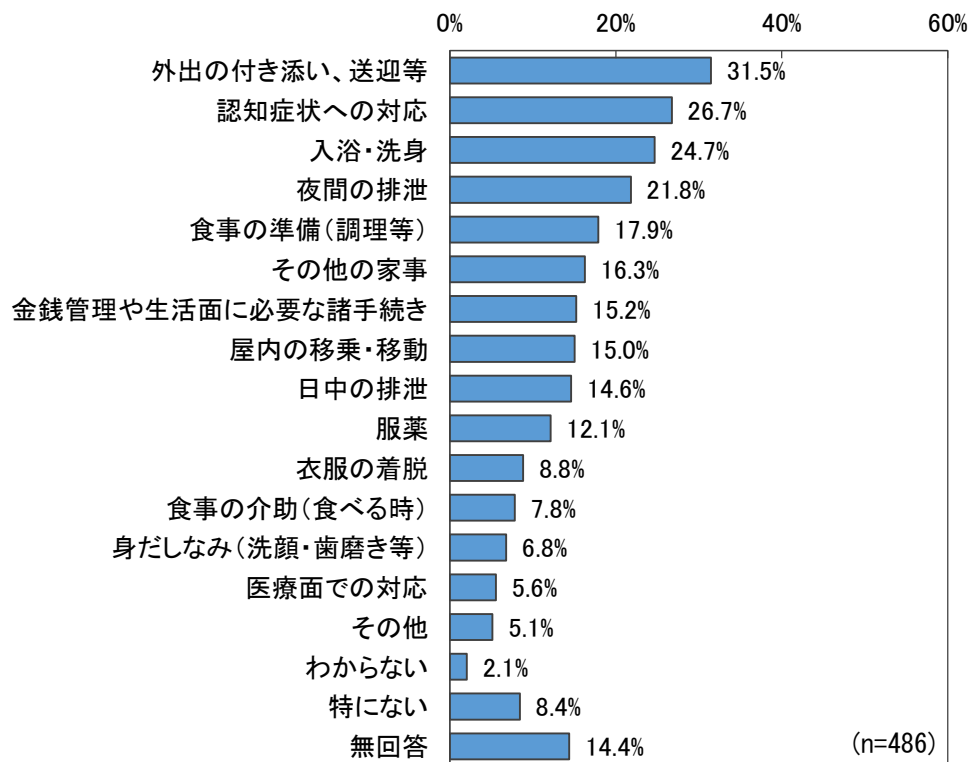
3 在宅介護実態調査結果の概要

●介護者が望む在宅サービスについて

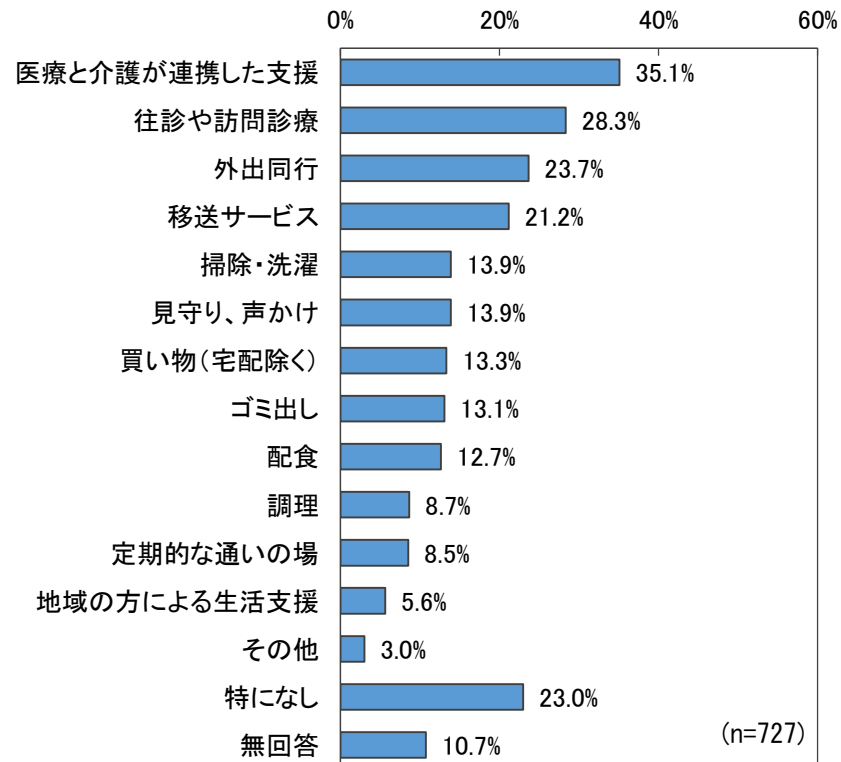
○介護者の不安では「外出の付き添い、送迎等」や「認知症状への対応」が多く、在宅サービスでは「医療と介護が連携した支援」や「往診や訪問診療」が多く望まれている。

○第9期計画では、外出支援や認知症支援、医療と介護が連携した支援などの取り組みをさらに充実することが必要。

Q：今後の在宅生活の継続に向けた主な介護者が感じる不安



Q：在宅生活の継続のために必要と感じる支援・サービス



4 介護サービス提供施設・事業所調査結果の概要

●人材の確保・定着について

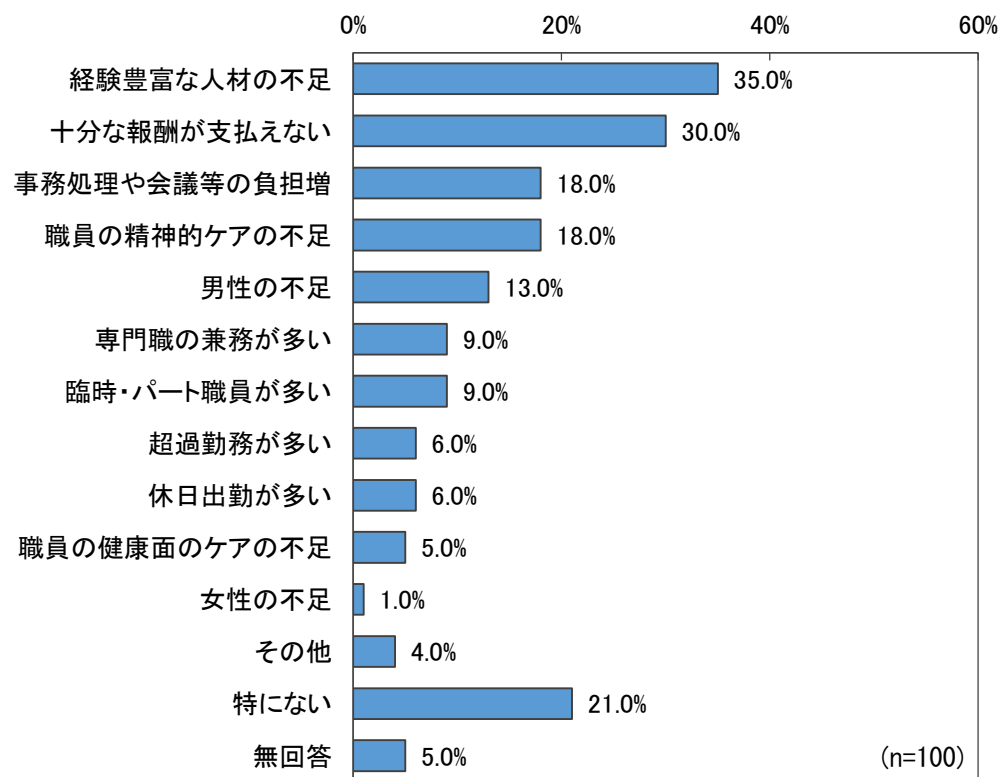
○年間採用者数のうち約半数が離職。特に、施設・居住系の離職率が高く、なかでも正規職員の離職率は6割を超えている。

○人材確保・定着面については、経験豊富な人材の不足や十分な報酬が支払えないなどの現状がある。

Q：最近1年間の介護職員の採用・離職の状況について

サービス系統 (該当事業所数)	区分	採用者数		
		正規	非正規	小計
訪問系 (n=19)	採用者数	19人	47人	66人
	離職者数	6人	25人	31人
	離職率	31.6%	53.2%	47.0%
通所系 (n=30)	採用者数	35人	55人	90人
	離職者数	16人	15人	31人
	離職率	45.7%	27.3%	34.4%
施設・居住系 (n=31)	採用者数	89人	77人	166人
	離職者数	54人	39人	93人
	離職率	60.7%	50.6%	56.0%
合計 (n=80)	採用者数	143人	179人	322人
	離職者数	76人	79人	155人
	離職率	53.1%	44.1%	48.1%

Q：人材確保・定着面での悩みについて



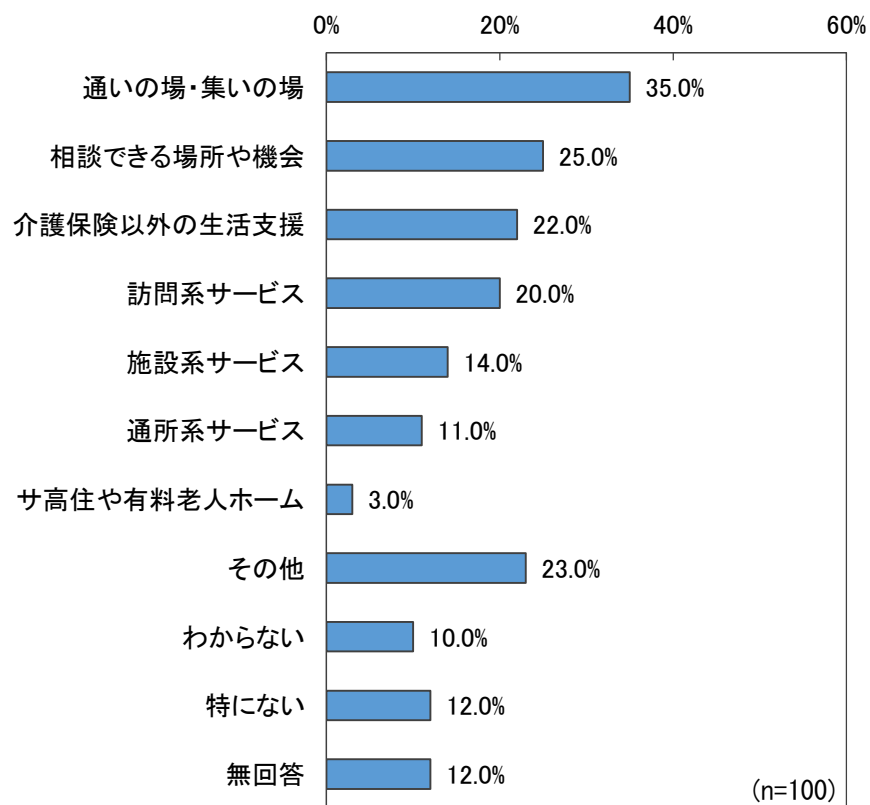
4 介護サービス提供施設・事業所調査結果の概要

●介護現場で感じている地域に不足しているサービスなど

○地域福祉の充実に向け、介護現場では、主に、地域における通いの場の充実や相談体制の強化、担い手の確保や育成が必要と考えている。

○第9期計画では、こうした課題解決に向けて、通いの場・集いの場などの取組の強化を進めていくことが重要。

Q：地域に不足しているまたは課題があるサービス・支援



Q：地域の高齢者福祉の充実に向けて必要なこと

